

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社

上場取引所 東

コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニットジェネラルマネージャー (氏名) 板野 和彦

TEL 03-5572-0233

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	922,643	—	600,887	—	561,872	—	140,860	—
20年3月期第3四半期	857,894	17.6	494,848	14.8	481,336	12.6	117,233	9.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	59,806.81	—
20年3月期第3四半期	49,741.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,752,640	1,362,790	72.6	540,759.88
20年3月期	1,807,900	1,238,812	64.0	491,168.09

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,272,675百万円 20年3月期 1,157,370百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3,500.00	—	4,000.00	7,500.00
21年3月期	—	4,000.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	8,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,153,000	△4.2	723,000	1.2	692,000	0.9	150,000	△13.4	63,735.03

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 2,358,410株 20年3月期 2,358,410株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 4,916株 20年3月期 2,047株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 2,355,260株 20年3月期第3四半期 2,356,864株

(注) 甲種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は平均為替レートが円高に推移したことや原油販売量が減少したものの、平均油価・ガス価が上昇したことから、売上高は922,643百万円（参考として添付した前年同期と比べ64,749百万円、7.5%の増。以下、同様）となりました。このうち原油売上高は前年同期比13,063百万円、2.3%増の569,444百万円、天然ガス売上高は前年同期比50,705百万円、18.1%増の331,566百万円となりました。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比7,148千バレル、11.3%減少の55,978千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比2,476百万CF、0.8%減少の291,717百万CFとなりました。このうち、海外生産天然ガスは、前年同期比2,976百万CF、1.2%減少の247,538百万CFとなり、国内生産天然ガスは、前年同期比13百万m³、1.1%増加の1,184百万m³、CF換算では44,178百万CFとなっております。海外生産原油売上の平均価格は1バレル当たり96.34米ドルとなり、前年同期比21.53米ドル、28.8%の上昇となりました。海外生産天然ガス売上の平均価格は千CFあたり10.61米ドルとなり、前年同期比2.76米ドル、35.2%の上昇となりました。なお、国内生産天然ガスの平均価格は立方メートルあたり37円85銭となり、前年同期比2円62銭、7.4%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル104円41銭となり、前年同期比12円93銭、11.0%の円高となりました。

売上高の増加額647億円を要因別に分析しますと、原油・天然ガスの販売数量の減少により629億円の減収要因、販売単価の上昇により2,320億円の増収要因、為替は円高により1,053億円の減収要因、その他の売上高は9億円の増収要因となりました。

一方、売上原価は、ADMA鉦区における売上増に伴うロイヤリティの増加があったものの、主にACG油田のコスト回収額の減少等により前年同期比382百万円、13.1%減の253,720百万円となりました。探鉱費は前年同期比5,809百万円、24.1%減の18,254百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比2,820百万円、6.0%増の49,781百万円となりました。以上の結果、営業利益は600,887百万円（前年同期比106,039百万円、21.4%増）となりました。営業外収益は、受取配当金が増加したものの、前年同期に計上したバユ・ウンダンガスコンデンサート田における埋蔵量再評価による精算益やベネズエラ事業における石油契約発効に伴う精算益が当第3四半期連結累計期間はなかったことなどから、前年同期比957百万円、3.8%減の24,562百万円となりました。営業外費用は、支払利息が減少したものの、投資有価証券評価損の増加、および前年同期の為替差益から為替差損となったことにより前年同期比24,546百万円、62.9%増の63,578百万円となりました。この結果、経常利益は561,872百万円（前年同期比80,535百万円、16.7%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税が85,109百万円、24.4%増加の434,254百万円、法人税等調整額が△15,110百万円、少数株主利益は1,868百万円となり、以上の結果四半期純利益は140,860百万円（前年同期比23,626百万円、20.2%増）となりました

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

天然ガスの販売が堅調に推移したことにより、売上高は70,816百万円、営業利益は26,353百万円となりました。

②アジア・オセアニア

原油・天然ガス販売量は減少したものの、油価高及びガス価高に伴い、売上高は370,942百万円、営業利益は258,911百万円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売量が減少したものの油価高により、売上高は62,848百万円、営業利益は32,539百万円となりました。

④中東・アフリカ

油価高及び原油販売量の増加に伴い、売上高は411,468百万円、営業利益は289,118百万円となりました。

⑤米州

売上高は6,568百万円、営業損失は396百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,752,640百万円となり、前連結会計年度末の1,807,900百万円と比較して55,260百万円の減少となりました。このうち、固定資産はカシヤガン油田やマハカム沖鉱区等への投資による生産物回収勘定の増加やオセアニア地域での開発投資等による有形固定資産の増加等により、前期末と比べて104,698百万円増加しましたが、流動資産は現金及び預金や、油価下落及び円高等による売掛金の減少などにより159,958百万円減少しました。一方、負債は借入金の返済や油価下落による未払外国法人税の減少などにより、179,238百万円の減少となりました。

純資産は1,362,790百万円となり、前連結会計年度比123,977百万円の増加となりました。このうち、少数株主持分は90,115百万円で、前連結会計年度比8,673百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の222,269百万円に当第3四半期連結累計期間中に減少した資金38,385百万円を差し引いた183,884百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、210,008百万円（前年同期比9,432百万円減）となりました。これは、四半期純利益の増加、売上債権の回収による資金の増加があったものの、法人税の支払いの増加があったことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、195,694百万円（前年同期比30,705百万円増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得の増加によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、47,370百万円（前年同期比18,264百万円増）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想は、平成20年11月11日に当期純利益1,500億円と公表しておりますが、当第3四半期においては、連結業績予想の修正を行っておりません。

4. その他

四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	143,419	204,596
受取手形及び売掛金	63,316	120,948
有価証券	133,770	115,730
たな卸資産	18,640	19,716
その他	46,033	104,176
貸倒引当金	△26	△58
流動資産合計	405,151	565,110
固定資産		
有形固定資産	270,400	254,481
無形固定資産		
のれん	116,573	121,644
その他	140,978	143,836
無形固定資産合計	257,552	265,480
投資その他の資産		
投資有価証券	378,571	360,726
生産物回収勘定	439,371	383,162
その他	97,530	61,258
貸倒引当金	△614	△911
生産物回収勘定引当金	△85,826	△71,445
探鉱投資引当金	△9,496	△9,963
投資その他の資産合計	819,535	722,827
固定資産合計	1,347,488	1,242,789
資産合計	1,752,640	1,807,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,575	22,582
短期借入金	26,376	19,274
未払法人税等	71,532	131,523
探鉱事業引当金	7,174	10,786
役員賞与引当金	116	208
その他	86,712	140,909
流動負債合計	203,486	325,285
固定負債		
長期借入金	130,920	174,813
退職給付引当金	8,426	8,645
廃鉱費用引当金	13,761	12,728
開発事業損失引当金	1,964	1,964
特別修繕引当金	406	229
その他	30,884	45,420
固定負債合計	186,363	243,802
負債合計	389,850	569,088

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	418,491	418,493
利益剰余金	840,630	718,616
自己株式	△5,248	△2,215
株主資本合計	1,283,873	1,164,894
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,045	△7,468
繰延ヘッジ損益	△0	3
為替換算調整勘定	△5,152	△60
評価・換算差額等合計	△11,198	△7,524
少数株主持分	90,115	81,442
純資産合計	1,362,790	1,238,812
負債純資産合計	1,752,640	1,807,900

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	922,643
売上原価	253,720
売上総利益	668,923
探鉱費	18,254
販売費及び一般管理費	49,781
営業利益	600,887
営業外収益	
受取利息	5,967
受取配当金	10,568
持分法による投資利益	1,315
その他	6,711
営業外収益合計	24,562
営業外費用	
支払利息	3,547
生産物回収勘定引当金繰入額	15,265
探鉱事業引当金繰入額	2,394
投資有価証券評価損	30,152
為替差損	5,143
その他	7,075
営業外費用合計	63,578
経常利益	561,872
税金等調整前四半期純利益	561,872
法人税、住民税及び事業税	434,254
法人税等調整額	△15,110
法人税等合計	419,143
少数株主利益	1,868
四半期純利益	140,860

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	561,872
減価償却費	31,799
のれん償却額	5,070
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	18,049
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△3,477
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△219
廃鉱費用引当金の増減額(△は減少)	1,100
その他の引当金の増減額(△は減少)	2,125
受取利息及び受取配当金	△16,535
支払利息	3,547
為替差損益(△は益)	5,131
持分法による投資損益(△は益)	△1,315
投資有価証券評価損益(△は益)	30,152
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	35,265
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△25,055
売上債権の増減額(△は増加)	58,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	936
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,481
未収入金の増減額(△は増加)	30,048
未払金の増減額(△は減少)	△48,242
その他	△2,862
小計	674,166
利息及び配当金の受取額	16,620
利息の支払額	△5,031
法人税等の支払額	△475,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,059
定期預金の払戻による収入	3,295
有形固定資産の取得による支出	△57,031
有形固定資産の売却による収入	314
無形固定資産の取得による支出	△2,592
有価証券の取得による支出	△19,082
有価証券の売却による収入	96,313
投資有価証券の取得による支出	△132,203
投資有価証券の売却による収入	6,510
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△84,723
短期貸付金の増減額(△は増加)	△45
長期貸付けによる支出	△2,972

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

長期貸付金の回収による収入	725
その他	△1,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,602
長期借入れによる収入	11,800
長期借入金の返済による支出	△59,817
少数株主からの払込みによる収入	7,101
自己株式の取得による支出	△3,048
配当金の支払額	△18,837
少数株主への配当金の支払額	△81
その他	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38,385
現金及び現金同等物の期首残高	222,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,884

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める石油・天然ガス関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ユーラシア (欧州・ NIS諸国) (百万円)	中東・ アフリカ (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	70,816	370,942	62,848	411,468	6,568	922,643	—	922,643
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	70,816	370,942	62,848	411,468	6,568	922,643	—	922,643
営業利益(又は営業損 失(△))	26,353	258,911	32,539	289,118	△396	606,525	(5,638)	600,887

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・オセアニア……………インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム

(2) ユーラシア(欧州・NIS諸国)…アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス

(3) 中東・アフリカ……………アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、
アルジェリア、アンゴラ

(4) 米州……………ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、
スリナム、ブラジル

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア・オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	318,216	36,424	354,641
II 連結売上高(百万円)	—	—	922,643
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	34.5	3.9	38.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、
オーストラリア

(2) その他の地域……………アメリカ合衆国

3 海外売上高は、本邦以外の国又は地域向け売上高であり、最終仕向地を基準としております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[参考資料]

(要約) 前第3四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	857,894
II 売上原価	292,020
売上総利益	565,874
III 探鉱費	24,064
IV 販売費及び一般管理費	46,961
営業利益	494,848
V 営業外収益	25,519
1 受取利息	8,731
2 持分法による投資利益	1,831
3 埋蔵量再評価精算益	4,005
4 石油契約発効に伴う精算益	3,527
5 為替差益	277
6 その他	7,146
VI 営業外費用	39,031
1 支払利息	8,820
2 生産物回収勘定引当金繰入額	15,228
3 投資有価証券評価損	7,915
4 その他	7,066
経常利益	481,336
税金等調整前四半期純利益	481,336
法人税、住民税及び事業税	349,144
法人税等調整額	△55
少数株主利益	15,013
四半期純利益	117,233

(要約) 前第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	481,336
減価償却費	26,694
のれん償却額	4,926
生産物回収勘定引当金の増加額	16,224
受取利息及び受取配当金	△12,611
支払利息	8,820
為替差益	△775
持分法による投資利益	△1,831
売上債権の増加額	△53,220
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	80,523
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△28,795
その他	22,856
小計	544,148
利息及び配当金の受取額	12,223
利息の支払額	△8,933
法人税等の支払額	△327,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,440
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	36,156
有形固定資産の取得による支出	△35,977
有形固定資産の売却による収入	104
投資有価証券の取得による支出	△87,384
投資有価証券の売却による収入	104
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△99,568
権益取得による支出	△16,082
権益譲渡による収入	27,890
その他	9,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,989
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	34,461
長期借入金の返済による支出	△44,066
配当金の支払額	△24,750
株式移転交付金の支払額	△0
その他	5,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,106
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,858
V 現金及び現金同等物の増加額	19,486
VI 現金及び現金同等物の期首残高	189,416
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	208,903

6. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	区分	(参考)前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
石油・天然ガス 関連事業	原油	66百万バレル (日量241千バレル)	60百万バレル (日量217千バレル)
	天然ガス	293十億CF (日量1,065百万CF)	290十億CF (日量1,053百万CF)
	小計	115百万BOE (日量418千BOE)	108百万BOE (日量393千BOE)
	石油製品	170千kl (1,072千バレル)	177千kl (1,116千バレル)
	ヨード	358t	375t
	発電	82百万kWh	74百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
 2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
 3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
 4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月31日の実績となっております。
 5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油88百万バレル(日量321千バレル)、天然ガス529十億CF(日量1,923百万CF)、合計176百万BOE(日量642千BOE)となります。
 6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
 7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
 8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 9 数量は単位未満を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。なお、石油・天然ガス関連事業は、受注生産を行っておりません。

③販売実績

- a) 当社グループは海外で生産された原油のうち当社取得権利量を、国内の精製会社をはじめ、国内外の需要家へ販売しております。インドネシアで生産された天然ガスはプルタミナを通じ、主にLNGとして日本の電力会社、都市ガス会社や、韓国、台湾等の需要家に販売しております。国内で生産された天然ガスはパイプラインを経由して沿線の需要家に販売しております。
- b) 当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメント	区分	(参考)前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
		石油・天然ガス 関連事業	原油	63,127千バレル	556,380
天然ガス	294,193百万CF		280,860	291,717百万CF	331,566
	LPG: 1,233千バレル			LPG: 1,535千バレル	
その他			19,266		20,178
小計			856,508		921,189
その他の事業			1,385		1,454
合計			857,894		922,643

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
 3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。
 4 主要相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プルタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、その過半をLNGとして日本の需要家へ販売しております。

相手先	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)
プルタミナ	272,260	29.5